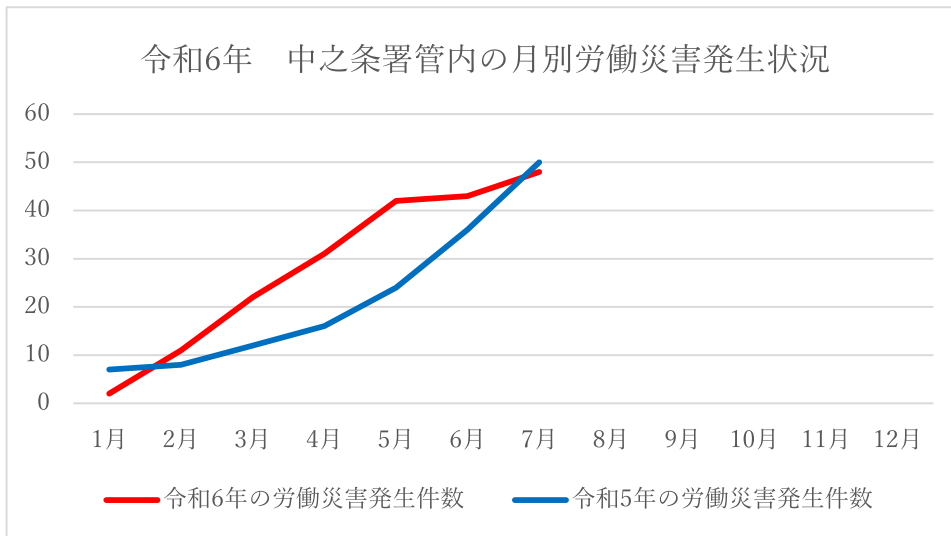


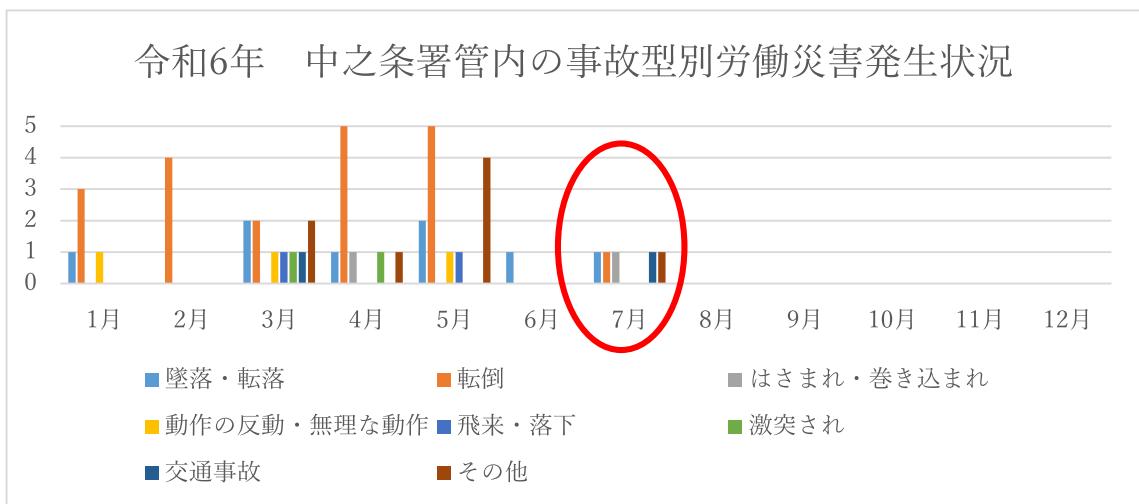
中之条労働基準監督署からのお知らせ（令和6年7月）

① 令和6年7月の中之条署管内の労働災害発生状況について

令和6年7月に受理した労働者死傷病報告は5件です。前月が1件にとどまっていたため、7月は労災が再び増加している傾向が認められます（休業1～3日災害も7月は増加傾向にありました）。令和6年休業4日以上労災の累計値は48件です。前年同時期比は50件であり、僅かに減少していますが、引き続き注意喚起の徹底をお願いします。






② 発生した災害の型別について



- ・7月発生災害5件は「墜落・転落」「転倒」「交通事故」「挟まれ・巻き込まれ」「熱中症」がそれぞれ1件ずつと多岐にわたっています。幅広い災害防止対策をお願いいたします。特に、転倒、熱中症は業種問わず発生する災害ですので、必ず対策を講じてください。

↓異常気象なのか…吾妻郡も酷暑となっております。毎月のことですが、熱中症予防徹底をお願いします。労働者自身で対応出来る7つの重点対策となります。特に5番のセルフチェックを作業開始前に導入してこまめに確認を行ってください。

<p>1 熱中症を正しく知ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体内に身体に熱がこもって、体温が上がって、熱中症になる 熱中症になる要因は、 <ul style="list-style-type: none"> 「蒸し暑さ」 「暑さに慣れていない」 「水分・塩分の不足」 「長時間連続作業」 <p>対策として、以下の②～⑦を適切に講じてください</p> 
<p>2 応急手当と水道水散布法</p>	<ul style="list-style-type: none"> I度(軽度) 意識ははっきりしているが、めまい・立ちくらみ等の症状 →冷所に移動して安静にし、身体を冷やし、水分と塩分を補給(1人にしない) II度(中等度) 頭痛や吐き気、だるい等の症状 →医療機関を受診(状況のよくなる人が医療機関に同行) III度(重症) 意識障害、けいれん発作、高温湿等の症状 →救急車を要請 救急車が到着するまで、作業着を脱がせ、水をかけて身体を冷却 
<p>3 暑さ指数の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暑さ指数：総合的に蒸し暑さを表すもの 暑さ指数を活用するための4つのステップ <ol style="list-style-type: none"> 暑さ指数の測定 着用している作業着などを考慮して測定値を補正 危険度を確認して対策 作業着への周知 
<p>4 暑熱順化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暑熱順化：夏の暑さに身体を慣らすこと 入職したての人、長期休暇あけの人は、要注意 <ul style="list-style-type: none"> 暑さに体が慣れても数日間職場を離れると効果は消滅 運動や入浴などで汗をかいて暑熱順化することもできる 
<p>5 水分塩分同時補給</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水分と塩分は同時に補給 のどが潤いたと思ったときには、すでに脱水状態が始まっていることがある のどが渇く前に、仕事の合間に、こまめに水分を補給することが大切 <p>脱水症セルフチェック</p> 
<p>6 プレクーリング</p>	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ体温を下げておき、作業中に体温が上がるのを緩やかにする プレクーリングの方法は以下の2つ <ul style="list-style-type: none"> 身体の外側から冷やす方法 身体の内側から冷やす方法 
<p>7 健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者：現場パトロールを行い、作業員に声をかけ、健康状態を確認 作業者：単独作業を避け、声をかけ合う こまめに水分・塩分を補給 

労務関係・安全衛生関係の質問・相談がありましたら、お気軽に下記の連絡先まで御連絡・御相談ください。



中之条労働基準監督署 ☎0279-75-3034

所在地：吾妻郡中之条町大字中之条町 664-1

ひと、くらし、みらいのために



自分で
できる



7



つのこと

1

熱中症を正しく知ろう

1-1

(管理者編)



動画はQRから

1-2

(作業員編)



動画はQRから

2

応急手当と
水道水散布法



動画はQRから

3

暑さ指数の活用

3-1

測定
(管理者編)



動画はQRから

3-2

確認
(作業員編)



動画はQRから

4

暑熱順化



動画はQRから

5

水分塩分
同時補給



動画はQRから

6

プレクーリング



動画はQRから

7

健康管理



動画はQRから



1

熱中症を正しく知ろう

- 体内に身体に熱がこもって、体温が上がって、熱中症になる
熱中症になる要因は、
 - 「蒸し暑さ」
 - 「暑さに慣れていない」
 - 「水分・塩分の不足」
 - 「長時間連続作業」
- 対策として、以下の②～⑦を適切に講じてください



2

応急手当と水道水散布法

- I度(軽度)** 意識ははっきりしているが、めまい・立ちくらみ等の症状
→冷所に移動して安静にし、身体を冷やし、水分と塩分を補給(1人にしない)
- II度(中等度)** 頭痛や吐き気、だるい等の症状
→医療機関を受診(状況のよくわかる人が医療機関に同行)
- III度(重症)** 意識障害、けいれん発作、高体温等の症状
→救急車を要請
救急車が到着するまで、作業着を脱がせ、水をかけて身体を冷却



3

暑さ指数の活用

- 暑さ指数:総合的に蒸し暑さを表すもの**
暑さ指数を活用するための4つのステップ
 - 暑さ指数の測定
 - 着用している作業着などを考慮して測定値を補正
 - 危険度を確認して対策
 - 作業者への周知

31~33	☹️	危険 Danger
28~31	😞	嚴重警戒 Severe Warning
25~28	😐	警戒 Warning
21~25	😓	注意 Caution

4

暑熱順化

- 暑熱順化:夏の暑さに身体を慣らすこと**
入職したての人、長期休暇あけの人は、要注意
 - 暑さに体が慣れても**数日間職場を離れると効果は消滅**
 - 運動や入浴などで汗をかいて暑熱順化することもできる



5

水分塩分同時補給

- 水分と塩分は同時に補給**
のどが渴いたと思ったときには、すでに脱水状態が始まっていることがある
のどが渴く前に、仕事の合間に、こまめに水分を補給することが大切



6

プレクーリング

- あらかじめ体温を下げておき、作業中に体温が上がるのを緩やかにする**
プレクーリングの方法は以下の2つ
 - 身体の外から冷やす方法
 - 内部から冷やす方法



7

健康管理

- 管理者:** 現場パトロールを行い、作業員に声をかけ、健康状態を確認
- 作業者:** 単独作業を避け、声をかけ合う
こまめに水分・塩分を補給



参考リンク先

学ぼう! 備えよう! 職場の仲間を守ろう!
職場における熱中症予防情報

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



(R6.4)